



おりこう

折高だより 令和6年度第2号

福岡県立折尾高等学校

令和6年4月9日

校長 浪崎 陽一

第71回入学式 校長式辞

温かな春の息吹を感じる今日の佳き日に、PTA会長原田圭子様、本校同窓会 北陵会会長丸岡好雄様をはじめ、多数の御来賓の御臨席を賜り、令和六年度福岡県立折尾高等学校第71回入学式を厳粛かつ盛大に挙行できますことは、御列席の保護者の皆さまは勿論、私ども教職員一同この上ない喜びとするところでございます。公私ともに御多用の中、本日御出席を賜りました皆様に、厚く御礼申し上げます。



ただ今、入学を許可いたしました160名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、9年間の義務教育を修了し、自らの意志で本校への進学を決意し、本日晴れて入学を許可されました。多数ある学校の中から本校で学ぶことを選択したことが、自分の人生にとって最高の決断であったと後に思ってもらえるように、教職員一同、大きな使命感と責任感を持って皆さんの指導・支援に全力を尽くします。

今、皆さんの胸中は、これからの新たな高校生活への夢と希望に満ち溢れていることと思います。皆さんが栄えある今日の日を迎えることができたのは、皆さんのたゆまぬ努力の賜であることは勿論ですが、御家族を始め、皆さんを今まで慈しみ、励ましてこられた方々の深い愛情に支えられてきたからこそであるということを忘れてはなりません。

本校は、大正7年に設立された折尾高等女学校と昭和14年に設立された八幡市立商業学校が、昭和24年に東筑高等学校と統合され、その後、昭和31年には東筑高等学校から分離され、商業科と家庭科を有する折尾高等学校として設置されました。歴史ある「折尾」という地名を校名として冠し、「礼節・誠実・品性」の校訓のもと、商業科と家庭科の専門高校として、地域に貢献する多数の有為な人材を輩出してまいりました。本校は「地域社会で活躍できる産業人材を育成する学校」であり、商業・家庭の各分野において、将来の職業生活につながる実践的で協働的な教育活動を行い、広い視野と豊かな人間性を育むことで、これからの地域社会を主体的に創造できる人材を育成することをスクール・ミッションとしています。

今日、日本を取り巻く国際情勢は、急速に変化しています。貧困や紛争、環境問題、エネルギー問題など、地球規模の課題が山積しています。先行き不透明で予測が困難な時代です。この予測困難な時代を逞しく生きていくためには、我々一人一人が自立した人間として自ら主体的に社会と関わり、問題解決を模索していく必要があります。人工知能の活用も急速な進歩を遂げています。このような現代に生きる我々は、今こそ人間ならではの新たな価値を創造し、明るい将来を創り出すよう努力していかなければなりません。

新入生の皆さん、本校のキャッチフレーズはご存じですか。「未来の自分は今日の自分がつくる。未来の社会は私たちがつくる。」皆さんひとり一人が主役であり、自らが自らの意思で行動することが大切です。時には失敗することもあるでしょう。しかし失敗なき成功はありません。ぜひ失敗を恐れずに何事にも果敢にチャレンジしてください。挑戦せよ、失敗せよ、成功するまで。

最後になりましたが、保護者の皆様に一言御挨拶を申し上げます。お子様の御入学、心からお祝い申し上げます。本日から3年間、大切なお子様をお預かりすることとなりました。今後は皆様のご期待に応えるべく、私ども教職員一同、誠心誠意全力を尽くす所存でございます。皆様の本校教育への御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日入学した160名の新入生の皆さんの充実した高校生活と、大きな成長を祈念し、式辞といたします。

令和6年4月9日

福岡県立折尾高等学校 校長 浪崎 陽一